

# 県北管内感染症ニュースレター

令和8年度 第1号

## RSウイルス感染症に対する母子免疫ワクチンの

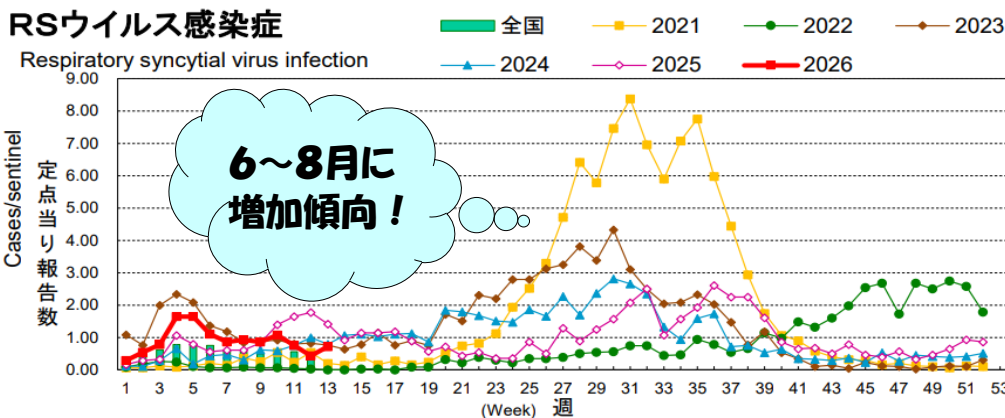


### 定期予防接種を実施します！



令和8年4月からRSウイルス感染症に対する母子免疫ワクチンの定期予防接種を実施します。ワクチンを妊娠中に接種することで、乳幼児のRSウイルス感染症の重症化予防が期待できます。今回は、RSウイルス感染症とその母子免疫ワクチンについて詳しく紹介します。

## RSウイルス感染症の県内の発生動向は？



グラフ：福島県感染症発生動向調査報告 2026年第13週 現在

RSウイルスは年齢を問わず何度も感染症を引き起こすウイルスで、2歳までにほぼ全ての乳幼児が感染すると言われています。

## RSウイルス感染症はどんな病気？

RSウイルスに感染すると、一般的に風邪の様な症状がみられます。初めて感染した乳幼児の約7割は数日のうちに軽快しますが、約3割では、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなる）、気管支炎や肺炎の症状が現れることがあります。また、慢性呼吸器疾患等の基礎疾患のある高齢者や免疫不全者においても、重症化するリスクがあると知られています。

## どのように感染するの？

RSウイルスに感染した人の咳やくしゃみなどによる飛まつ感染と、ウイルスの付着した手指や物などを介した接触感染といわれています。

感染してから2～8日ほどで症状が出現します。



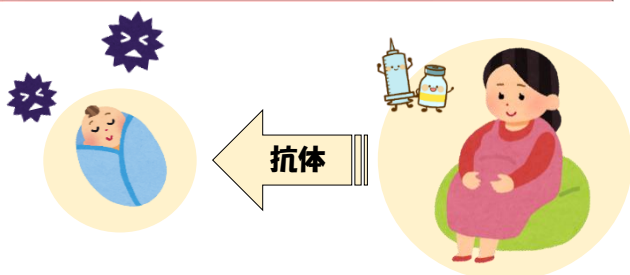
症状は、  
発熱・鼻水・咳など

## RSウイルス感染症の予防と対策

- 流水・石鹸による手洗い、アルコール製剤による手指衛生を行う
- マスクが着用できる年齢の子どもや大人はマスクを着用する
- 日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはアルコールや塩素系の消毒剤などで消毒する
- RSウイルス感染症に対する、母子免疫ワクチンを接種する



## 母子免疫ワクチンとは？



乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができません。母子免疫ワクチンを妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができます。

## 母子免疫ワクチンの接種時期

接種時点で、**妊娠 28 週 0 日から 36 週 6 日までの妊婦の方**

※ 36 週 6 日までに出産を予定している場合は、医師に相談してください。

## ワクチンの接種方法

定期予防接種はお住まいの（住民票のある）市町村で実施されます。詳しくは、お住まいの市町村にお問い合わせください。また、**里帰り出産によりお住まいの市町村外での接種を希望する場合についても、お住まいの市町村にお問い合わせください。**

## 予防接種救済制度があります

予防接種を受けた後、極めてまれですが、病気になったり障害が残ったりすることがあります。そのため、救済制度が設けられています。**接種を受けた本人及び出生した児が対象**となります。制度の利用を申し込むときは、**予防接種を受けた時に住民票を登録していた市町村にご相談ください。**



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。



発行日:令和 8年 4月 8日  
発行元:福島県県北保健所医療薬事課  
住所 〒960-8012 福島市御山町8-30  
電話 024-534-4113